

～ 船橋市消防局における女性職員の活躍 ～

1 船橋市消防局の女性消防職員について

船橋市消防局では、31人の女性消防職員が警防業務・救急業務・通信業務・日勤業務など様々な分野で活躍しています！（令和6年4月1日現在）

なお、当局では従事する消防業務に男女の差異は設けていません。

ただし、母体保護の観点から化学小隊への配属は行わないなど、女性に対する配慮をしています。



警防業務

- *火災出動
- *救助出動
- *警戒出動
- *支援出動

等



救急業務

- *急病
- *一般負傷
- *交通事故

等





通信業務

- *指令業務
- *無線運用
- *システム運用

等



日勤業務

- *総務事務
- *財務事務
- *予防事務
- *警防事務
- *救急事務

等



2 女性専用の消防施設について

当局では、女性が当直勤務可能な消防施設が市内に7か所あります。

これらの施設には女性専用の個室が設置されており、更衣室、仮眠室、シャワー室及び洗濯機が完備されています。

また、今後も女性が当直勤務できる施設を増やしていく予定です。

(※ 参考写真 東消防署古和釜分署)



仮眠室（個室）



シャワー室



脱衣所、専用洗濯機



3 ライフステージに応じた人事配置及び家庭と仕事の両立を支援



当直勤務（24時間勤務）をしていた職員が妊娠した時は、勤務形態を当直勤務から毎日勤務（平日8時45分～17時15分勤務）に変更するなど組織全体でサポートをしています。

そして、育児休業から円滑に復帰するため、職場復帰支援も行っているため、安心して職場復帰することができます！

また、当局では、妊娠・出産・育児を経て職場に復帰している職員も多く、職場の先輩として、先輩ママとして頼れる女性職員がいるのも魅力です✧

船橋市消防局では、妊娠・出産・育児などのライフステージに応じた家庭と仕事の両立をサポートできるよう、以下のような休暇の取得が可能となっています。

代表的な特別休暇等	
産前産後休暇	出産の前後8週間（計112日間）で取得可能
育児休業	子が3歳に達する日（誕生日の前日）まで取得可能
部分休業	小学生になる前までの子の養育のため 1日最大2時間取得可能（勤務時間の短縮）
育児短時間勤務	小学生になる前までの子の養育のため 週3日勤務など選択可能
子の看護のための休暇	ケガや病気の子の看護のために、子供1人につき年5日間の休暇取得が可能

今後、全職員の5%にあたる35人以上を目指して採用していきます！

ぜひ、船橋市消防局でお会いしましょう！

🌸 ライフステージに応じた人事配置の紹介 🌸

～女性職員 A さん～

入局後・・・当直勤務（警備隊・救急隊）

妊娠後・・・毎日勤務（予防事務）

出産後・・・毎日勤務（総務事務）

部分休業を取得して、子の保育園の送迎を行う。

119番



～女性職員 B さん～

入局後・・・当直勤務（救急隊）

妊娠後・・・毎日勤務（予防事務）

出産後・・・1年の育児休業

復帰後・・・毎日勤務（予防事務）

当直勤務（救急隊長）

～女性職員 C さん～

入局後・・・当直勤務（警備隊・救急隊）

妊娠後・・・毎日勤務（救急事務）

出産後・・・2年の育児休業を取得

～女性職員 D さん～

入局後・・・当直勤務（警備隊）

妊娠後・・・毎日勤務（予防事務）

出産後・・・1年の育児休業

復帰後・・・毎日勤務（火災調査・予防事務）

当直勤務（警備小隊長）



職場を離れても、復帰時にはしっかりとサポートして、働きやすい環境を整えています！

女性職員の紹介



名前：海沼 弥生

所属：消防局総務課職員係

消防士を目指したきっかけは？

私が消防士を目指したきっかけは、病院で救急隊を見かけて「かっこいいなあ」と思ったのがきっかけです。

消防士というと、男性のイメージが強いですが、女性の消防士がいることで市民の方々の役に立つことができるのではないかと考え、消防士を目指すことにしました。

実際に消防士になってみてどう？

消防士になって、市民の方と接するとよく言われることがあります。

- 女性の消防士さんって珍しいね。
- 安心するわ。
- 女の人で良かった。 等

うれしい言葉をたくさんかけてくださり、とてもやりがいを感じています。

船橋市消防局のいいところは？

女性のライフステージに応じた休暇等に周りの理解が深く、働きやすい環境が整っています。

普段から、気にかけてくださり、上司や同僚に相談しやすい職場です。

妊娠・出産を経たみてどう？

女性は、「妊娠したらどうしよう、言いにくいな、仕事に穴を空けてしまうから申し訳ないな」と思うことは少なからずあると思います…。実際に私もそうでした。

ですが、職場のみんなに相談すると、「おめでとう！」と祝福の言葉をかけてもらい、すぐに勤務体制を変更するなど、妊娠・出産・育児のサポートをしてもらいました！

また、職場復帰する際も快く受け入れてくださり、なんの不安もなく職場復帰することができました。復帰後も育児のことを気にかけてくださり、とても配慮をしてくれています。

妊娠前は、こんなに理解のある環境だとは全く想像していませんでしたが、それは私の勝手な想像で、最高の職場環境でした！

消防吏員を目指す未来の後輩たちへ

前段でも述べましたが、女性のライフステージに応じた休暇等に周りの理解が深く、働きやすい環境が整っています。

また、女性職員同士も仲が良くプライベートでも交流があります。

ぜひ、船橋市消防局と一緒に働きましょう！

名前：中野 愛里

所属：消防局総務課総務係



消防士を目指したきっかけは？

大学で医学的な知識を学びたいと考え、人を助けることができる救急救命士の資格を取得しました。救急救命士の資格を活かすため、医療現場の最前線で活躍する消防士を目指しました！

船橋市消防局を選んだ理由は？

ドクターカー制度に魅力を感じたからです。

ドクターカー制度とは、重度傷病者が発生した現場へ、医師が救急車に同乗して出動する制度で、船橋市は全国に先駆けて運用を開始しています。

ドクターカーの運用により、救急体制が充実していると考え、自らのスキルアップにもつながると感じ、船橋市消防局を選びました。

消防士になってよかったことは？

人の生死に関わる救急現場では、大変なことも多くあります。

大変な現場でも、傷病者やその家族に寄り添うことを忘れず、少しでも痛みや不安を和らげるよう活動することを心がけています。

その結果、傷病者やその家族から「ありがとう」と感謝の言葉をかけてもらうことが多く、とてもやりがいを感じ「救急隊になってよかった、もっと頑張ろう」と思うことができます。

これからのビジョンはありますか？

女性だからこそ、できること・気づくことは多くあります。

現場活動では、女性隊員だからこそ聴取・観察しやすいこともあり、市民を安心させることができます。また、職場においても女性がいることで、より明るく風通しの良い職場環境を築くことができると考えます。

女性が働きやすい環境を今以上に整え、これから入局する女性職員とも良い関係を築いていきたいと思いますので、ぜひ船橋市消防局でお会いしましょう！